

# 解 答 速 報



医学部受験予備校

英語

医特

## 大阪医科薬科大学 一般選抜前期

I					
1.	デジタル機器を毎日使うことによって高齢者の認知機能の低下のリスクが58%低減されるとのことだが、それは高血圧でないようにすることや運動や脳のトレーニングによって脳機能が保持されることと似ている。				
2.	① い	② う	③ く	④ か	
3.	デジタル技術を使い始めた最初の世代。(18字)				
4.	A・D				
5.	(ア) う	(イ) い	(ウ) え	(エ) お	
6.	① こ	② お	③ あ	④ き	
7.	① D	② C	③ A		
8.	(オ) こ	(カ) そ	(キ) し	(ク) え	(ケ) く

II										
1	2	3	4	5	6					
C	C	B	B	D	(ア)D	(イ)B	(ウ)E	(エ)E	(オ)A	
7										
① う ② か ③ え ④ く ⑤ き										

III	
(1)	Zen practices were once aimed at the unification with [the integration into] the great [vast] nature . [別解] Those who practiced Zen Buddhism once aimed [sought] to be unified [integrated] into mother nature. [別解] Zen practice was once intended to become one with the great natural world.
(2)	For this reason, the creation of gardens condensing nature's essence [that embodied the essence of nature] was regarded as one form of Zen practice [a Zen practice]. [別解] Some Zen practitioners, therefore, made a garden by incorporating [taking in] various aspects of nature as a method of Zen practice.
(3)	One of the features [traits / characteristics] of the gardens influenced by Zen (teachings) is to skillfully express natural scenery [landscapes], such as creating images of waves through sand arrangement [(by) arranging sand]. [別解] One characteristic of gardens influenced by Zen thought [philosophy] is the skillful expression of natural scenery, such as creating the image of waves using sand.

## 【講評】

I :

「デジタル機器の使用が高齢者の認知機能の低下対策に役立つ可能性」について述べた英文であった。和訳、下線部説明、空所補充、指示内容特定で構成される大問であった。指示内容を英語（5語＋15語）で説明する問題が昨年は出題されたが、今年は姿を消した。記号問題はどれもあまり悩ましい出題はなかった。1の和訳問題では、the protection gained from ～や lower blood pressure の部分を、文脈を鑑みて意味の通る日本語にしなければならなかった。このような和訳の出題は大阪医科薬科大の王道の出題法であるので、日頃からしっかりと文脈に即した日本語遣いには注意をしておくことが肝要である。

II :

「考古学、環境学的視点から見るクロービス人（北アメリカに最初に住んでいた人類）の食事」について述べた英文であった。大問IIからは記述問題が姿を消し、本文要約の空所補充5題、下線部内容一致、本文空所補充、指示語特定の客観式問題の出題であった。どの問題もかなり平易な印象。

III :

「芸術としての造園に見られる禅思想」についての英作文問題。分量は例年通りだが、難易度はやや難化した。例年の大阪医科薬科大の出題通り和文をそのまま英作文できる出題だったが、「修行」・「一体化」・「凝縮」・「景観」といった、表現に工夫を要求される箇所があった。

和訳・説明問題が中心だった出題傾向から大きく変化したのが2024年度で、それ以来記号問題の出題が増え記述量が激減したが、今年もその傾向のまま変わらなかった。大問Iの和訳問題では日本語表現力が問われたものの、大問IIは全て記号問題に変わり、大問I・II全体としては取り組みやすくなっており、受験生の間であまり差が付かない問題であろう。

大問IIIの英作文がやや難化していることから、大問IIIが合否の差を分ける問題だったと言える。合格には75%を目指したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！  
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p><b>渋谷校</b></p> <p>☎ 0120-142-760</p> <p>東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p><b>名古屋校</b></p> <p>☎ 0120-148-959</p> <p>名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p><b>大阪校</b></p> <p>☎ 0120-142-767</p> <p>大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 <b>麹町FC校</b></p> <p>TEL : 03-6272-4175</p> <p>東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 <b>医学部特訓塾</b></p> <p>TEL : 03-6279-9927</p> <p>東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	